

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789</a>

45  
~~44~~  
4  
197  
山形所長 三浦一 民政官会談

総務課 5  
注意 2

456 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 18/83  
70年4月17日 16時02分 ナハ 主管 米北  
70年4月17日 19時45分 本省 署 米北

外務大臣殿 岸 沖繩事務所長

民政官との会食(連)

第125号 岸  
総務長官、第125号

17日貴方の招待によりファイアー民政官との会食(当方宮崎、賀陽、貴方、フラー、川村、同席)したところ「フ」の連へ天と、以下記のり参考まで。

1. 沖繩の基地労働者の給与其他は本土の水準まで上げた場合、  
(a) 当地の物価指数などから見て、当地労働者が実質的に本土と上回る生活水準を享受することとなり、  
(b) 当地における労働賃金を押し上げること

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

なるが、日本政府はこの点に際しどう考えているかと質向。この向題に關する米側の関心の所在を示した。

2. 渡航手続の簡素化については先般総務府からの諸提案につき前向きに検討中であり、同政参加を控えて国会議員の入域の自由化も含めて特に公務員の場合については優先的に配慮したいと記あり。

3. G.R.Iの予算の財源不足の向題については憂慮端球政府に対しては再三その歳出の合理化を警告していることであり、日本政府として為すべきことと為して、日本政府の好意的配慮を切望している。 13)

—2—

外務省